

企画県土警察常任委員会資料

(平成23年11月29日)

- 1 河北省友好提携25周年記念事業の実施結果について
【交流推進課】 . . . 1ページ
- 2 第12回国際マンガサミット北京大会への参加結果について
【観光政策課】 . . . 3ページ
- 3 「第13回国際マンガサミット鳥取大会」実行委員会の設立について
【観光政策課】 . . . 4ページ
- 4 アジア太平洋ジオパークネットワーク（APGN）シンポジウム
開催誘致について 【観光政策課】 . . . 5ページ
- 5 アジア・クルーズ・ターミナル協会への境港の加入等について
【国際観光推進課】 . . . 6ページ

文化観光局

河北省友好提携25周年記念事業の実施結果について

平成23年11月29日
交流推進課

本年、河北省との友好交流が25周年を迎えることから、下記のとおり知事をはじめとする訪問団が訪中し、河北省での記念事業に参加しました。また、近年の中国からの訪日観光客の増加を踏まえ、観光・教育旅行説明会を河北省で開催し、「まんが王国とっとり」等のPRを行いました。

記

1 訪問団（38名）

- ・知事団 平井伸治鳥取県知事ほか
- ・議会団 伊藤美都夫鳥取県議会議長ほか
- ・民間交流団 鳥取県日中友好協会、鳥取県ゲートボール協会、NPO法人サカズキネット
- ・青少年交流団 八頭高等学校書道部

2 友好提携25周年記念行事

- (1) 鳥取県文化財写真展オープニング式典（10月24日(月)午後3時30分～ 河北省博物館）
 - ・鳥取県立博物館との交流の成果として、河北省博物館が初めて開催した本格的な鳥取県紹介展。
 - ・知事は、会場に集まった約300人の子供たちや関係者に、鳥取県をコナンや鬼太郎のふるさととして紹介し、「まんが王国とっとり」や「国際マンガサミット鳥取大会」等のPRを行った。
 - ・また、八頭高校書道部がパフォーマンス書道を披露し、観衆から大きな拍手をいただいた。
- (2) 鳥取県知事・河北省代省長会談（10月24日(月)午後6時～ 河北会堂）
 - ・張慶偉（ジャン・チンウェイ）代省長（※）は今後の両県省の交流方針として、両県省がリーダーシップをとりながら、①ハイレベルな人的往来の促進、②経済、農林、教育、環境分野の交流の継続発展、③チャーター便等の活用を含む観光交流の促進を図っていくことを提案した。
 - ・知事は代省長の提案に賛同し、さらに県西部を中心とした再生可能エネルギーなどの環境分野の交流の可能性や漫画アニメ分野での連携など、両県省に共通する施策分野で互恵関係を築いていくことを提案した。
 - ・また、知事から国際マンガサミット鳥取大会への河北省の参加を要請したところ、代省長から「ぜひ訪問団を派遣したい」との回答をいただいた。

（※）代省長：今年8月末の河北省長の異動に伴い後任の省長として着任。来年初めの河北省人代で正式に省長に就任するまでの暫定的な呼称。
- (3) 河北省政府主催レセプション（10月24日(月)午後6時30分～ 河北会堂）
 - ・河北省トップレベルの要人と訪問団全員が出席し、河北省との友好提携25周年を祝い、交流を深めた。

3 その他実施事業

- (1) 河北省旅遊局長との意見交換（10月25日(火)午前9時15分～ 中茂海悦酒店）
 - ・知事より鳥取県観光の魅力を紹介し、河北省との観光交流について協力を求めた。
 - ・これに対し栗進路（リー・ジンルー）局長は、鳥取県の観光素材の良さを賞賛するとともに、「春秋航空が米子に乗り入れる際には河北省として観光面でぜひ協力したい」と支持を表明した。
- (2) 鳥取県観光・教育旅行説明会（10月25日(火)午前9時30分～ 中茂海悦酒店）
 - ・知事による基調挨拶、栗旅遊局長挨拶に続き、石家荘市内の旅行社、教育旅行担当者等110人を対象に観光PRを行い、観光地としての鳥取県の知名度向上と本県への観光ツアーや教育旅行の造成を図った。
 - ・参加者は観光素材としてマンガ、大山、砂丘、温泉、季節ごとの食を高く評価するとともに、大学間の新たな交流についても関心を示し、引き続き情報提供を図っていくこととした。
- (3) 歴代河北省農業研修生との交流会（10月25日(火)午前9時30分～ 河北省農林科学院）
 - ・議会団や民間交流団が過去に鳥取県が受け入れた農業研修生とこれまでの交流を振り返り、今後の

交流について意見交換した。

(4) ゲートボール交流 (10月25日(火)午前 石家荘市内)

鳥取県ゲートボール協会と河北省のゲートボール愛好者が親善試合等を通じて交流した。

(5) 青少年書道交流 (10月25日(火)午前 石家荘外国語学校)

八頭高校書道部が石家荘外国語学校を訪問し、同年代の生徒と書道等を通じて交流した。

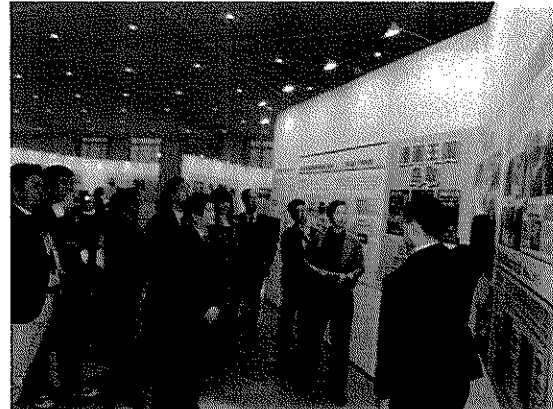
4 知事訪中日程

月 日	内容
10月23日 (日)	羽田空港→北京空港
	石景山区政府 夏林茂(シア・リンマオ)代理区長との会見(石景山区政府)
	まんが王国とつとりトッププロモーション(中国動漫遊戯城)
	国際マンガサミット中国北京大会閉会式(プルマン北京ウエストワンダ)
	北京泊
10月24日 (月)	中日友好協会 井頼泉(ジン・トンチュエン)副会長との会見(中日友好協会)
	北京→石家荘(鉄道)
	鳥取県文化財写真展オープニング式典(河北省博物館)
	河北省政府 張慶偉(ジャン・チンウエイ)代省長との会見(河北会堂)
	河北省政府主催歓迎レセプション(河北会堂)
	石家荘泊
10月25日 (火)	河北省旅遊局 栗進路(リー・ジンルー)局長との会見(中茂海悦酒店)
	鳥取県観光・教育旅行説明会(中茂海悦酒店)
	石家荘→北京(鉄道)
	北京空港→羽田空港

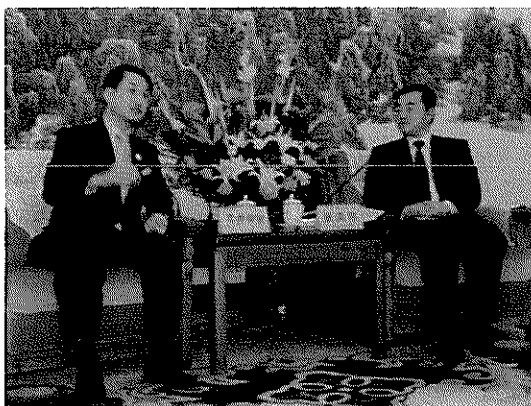
<写真>



書道パフォーマンスを披露する八頭高校書道部



写真展で鳥取県の魅力を紹介する平井知事



鳥取県知事・河北省代省長会談の様子



鳥取県観光・教育旅行説明会の様子

第12回国際マンガサミット北京大会への参加結果について

平成23年11月29日

観光政策課

1 大会概要

- (1) 期間 平成23年10月21日(金)～24日(月)
- (2) 会場 主会場 プルマン北京ウエストワンダホテル(北京市石景山区)
併催イベント会場 北京動漫遊戯城(北京市石景山区)
- (3) 内容 漫画家及び漫画関係者による研究発表、交流会、文化探訪など

2 本県の取組

(1) 「まんが王国とっとり」の紹介

併催イベント会場(来場者数:1万人)に鳥取県ブースを出展

ア 期間 平成23年10月22日(土)～23日(日)

イ 場所 併催イベント会場

ウ 出展内容

- ・「まんが王国とっとり」PRパネルの展示
- ・「まんが王国とっとり」紹介DVDの放映
- ・赤井孝美氏(株式会社ガイナックス・プロデューサー、県政アドバイザースタッフ)のオリジナルイラスト展示
- ・観光パンフレット、第13回国際マンガサミット鳥取大会告知チラシ等の配布

(2) トッププロモーション

平井知事、赤井孝美氏、中華コスプレアジア大会参加者などが鳥取県ブースにおいて「まんが王国とっとり」及び「第13回国際マンガサミット鳥取大会」をPR

ア 日時 10月23日(日)午後2時30分～3時

イ 場所 併催イベント会場 鳥取県PRブース

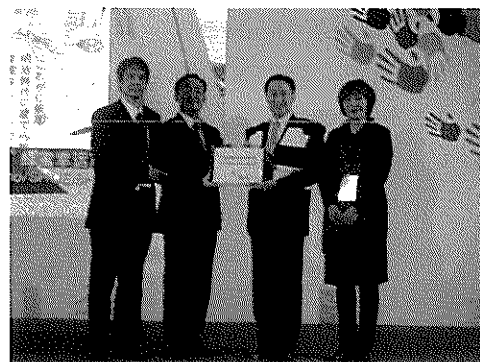
ウ 来場者 一般来場者 約200名

(3) 国際マンガサミット大会旗の引継ぎ

10月23日のサミット閉会式において、国際マンガサミットの大会旗が、北京市(夏林茂(シア・リンマオ)石景山区代理区長、徐涛(シュイ・タオ)議長)から次回開催地の日本(平井知事、里中満智子氏(アジアMANGAサミット運営本部代表))へ引継ぎ



トッププロモーションの様子



国際マンガサミット引継ぎ

「第13回国際マンガサミット鳥取大会」実行委員会の設立について

平成23年11月29日
観 光 政 策 課

国際マンガサミット北京大会において、次期サミットの開催地として本県に大会旗が引き継がれたことを受け、「第13回国際マンガサミット鳥取大会」実行委員会の設立総会を次のとおり開催しました。

- 1 日 時 平成23年11月18日（金）午後3時～4時10分
- 2 場 所 米子市文化ホール（米子市末広町293）
- 3 出席者 ・NPO法人アジアMANGAサミット運営本部（漫画家 ちばてつや氏、里中満智子氏、倉田よしみ氏）
・地元関係機関（鳥取県西部農業協同組合、皆生温泉旅館組合、米子市ホテル旅館組合、米子市観光協会、とっとりコンベンションビューロー、日本旅行業協会中国支部鳥取地区会、米子市、鳥取県）

4 協議・決定事項

ア) 規約の制定及び役員の選出

事務局が提案した規約について承認をいただき、規約に基づき役員を選出

委員長 ちばてつや氏（NPO法人アジアMANGAサミット運営本部、漫画家）

副委員長 平井知事、野坂米子市長

イ) 国際マンガサミット鳥取大会及び併催イベントの内容

サミット鳥取大会の日程等について承認をいただくとともに今後、併催イベントについて地元関係者等と協議を行っていくことを確認

①国際マンガサミット開催事業

- ・日 時 平成24年11月7日（水）～10日（土）
- ・メイン会場 米子コンベンションセンター ・テーマ 「食」と「海」
- ・開会式、閉会式、代表者会議等の開催
- ・シンポジウム、フォーラムの開催 など

②併催イベント事業

- ・国際漫画作品展、公開アトリエの設置
- ・サイン会、まんが教室の実施 など

③受入対策事業

- ・プログラム、図録等の作成
- ・送迎及び宿泊計画の策定
- ・外国語通訳、翻訳等の実施 など

ウ) 平成23年度事業等

サミット鳥取大会及び併催イベントの詳細計画の策定を承認

- ・シンポジウム、フォーラムのテーマ
- ・併催イベントの具体内容
- ・外国語通訳及び地元ボランティア通訳の実施体制の検討 など

5 今後のスケジュール（予定）

- H24.3 第2回実行委員会（平成24年度事業計画、予算等）
- H24.5 第3回実行委員会（平成23年度事業報告、決算等）
- H24.9 第4回実行委員会（サミット開催前の協議）

アジア太平洋ジオパークネットワーク(APGN)シンポジウム開催誘致について

平成23年11月29日
観光政策課

世界ジオパークネットワーク (GGN) に加盟しているアジア太平洋地域の36のジオパークで組織する「アジア太平洋ジオパークネットワーク (APGN)」の第4回目となる国際シンポジウムを、平成27年度に山陰海岸で開催するべく誘致活動をすすめています。

1 誘致の趣旨

- (1) アジア太平洋地域の世界ジオパーク地域が連携して国内外へジオパークについてアピールするため、国内では未開催の当該国際シンポジウムを山陰海岸ジオパークに誘致する。
- (2) 山陰海岸ジオパークは、国内で最も広いエリアで活動しているJGNメンバーとして、山陰海岸ジオパークでの活動や魅力について当該シンポジウムでアピールし、併せて他のJGN地域もその活動状況や成果について広く発信する。

2 これまでの経緯

平成23年7月	・APGNの委員会がベトナム・ハノイで開催され、第3回シンポジウムを平成25年に韓国濟州島で開催することを正式決定した。 ・平成27年に開催する第4回シンポジウムの候補地として、山陰海岸が関係機関と調整後正式表明を行うこととなった。
平成23年9月	・JGN理事会が北海道洞爺湖で開催され、JGNの一員として、山陰海岸が第4回APGNシンポジウムの開催を誘致することが承認された。
平成23年10月	・山陰海岸ジオパーク国際学術会議「城崎会議」で来日したAPGN代表のイブラヒム・コモオ氏に対し、中貝宗治山陰海岸ジオパーク協議会長が第4回のシンポジウム開催を誘致する意向を表明、コモオ氏からは「強く推したい」との発言があった。

3 今後の予定

- (1) 来年5月に島原半島で開催される第5回ジオパーク国際ユネスコ会議(5月12日～15日)の会期中に開かれるAPGNの委員会において次回シンポジウム開催の承認について働きかける。
- (2) 平成25年開催の第3回APGNシンポジウム(韓国・濟州島)において、第4回開催地を正式に決定。

《参考:アジア太平洋ジオパークネットワーク(APGNについて)》

(1) 概要

世界ジオパークネットワーク(GGN)に加盟しているアジア太平洋地域のジオパークで構成されているネットワーク組織で2007年に設立。加盟している各ジオパークが協力して、地質遺産の保全や、ジオツーリズム促進を重点に置いた持続的な経済開発を推進。

(2) シンポジウム開催状況

回	年度	開催地
第1回	H19(2007)	マレーシア・ランカウイ
第2回	H23(2011)	ベトナム・ハノイ
第3回	H25(2013)	韓国・濟州島
第4回	H27(2015)	日本・山陰海岸(誘致活動中)

(3) 加盟地域

36地域(平成23年9月末現在)

<加盟地域内訳>

オーストラリア(1)、中国(26)、イラン(1)、日本(5)、韓国(1)、マレーシア(1)、ベトナム(1)

(4) 事務局所在地

マレーシア・ランカウイ

アジア・クルーズ・ターミナル協会への境港の加入等について

平成23年11月29日
国際観光推進課
境港管理組合

東アジアの主要な国際港が連携協力して、国際クルーズ船及び旅客誘致を推進することを目的とした、「アジア・クルーズ・ターミナル協会（ACTA）」の設立総会が11月15日にシンガポールで開催され、境港を含む7港を会員として発足した。

1 ACTAの概要

- (1) 設立年月日：平成23年11月15日
- (2) 加盟港：6カ国・7港
シンガポール、中国（上海（吴淞口））、日本（境港、神戸）、台湾（基隆）、フィリピン（スービック）、マレーシア（クラング）
- (3) 事務局
シンガポール・クルーズ・センター（SCC）
※ACTA設立の事実上の発起人であり、世界中のクルーズ船会社とつながりを持つなどアジア地域のクルーズ市場に強い影響力を有している。
- (4) 主な事業
アジア地域における国際クルーズ市場の掘り起こしや国際クルーズ船の加入港への誘致等を推進していくため、年3回程度の勉強会開催や加入港を拡大するための働きかけを行っていく。
- (5) 総会の概要
 - ①開催日時 11月15日（火）午前10時30分～午後1時30分
 - ②場 所 シンガポール マリーナ・ベイ・サンズ
 - ③参加者 6カ国・7港の代表
 - ④内 容
 - ・各港の代表者による港の紹介
港の紹介において、人や物流の「北東アジアゲートウェイ」としての境港を強調するとともに、「山陰海岸世界ジオパーク」「まんが王国とっとり」といった観光の魅力をPR。
 - ・記者会見
地元シンガポールのほか、中国及び日本のマスメディアも取材に訪れ、本協会設立に対する関心の高さが伺えた。

2 クルーズ・ SHIPPING・アジア2011への境港出展

- (1) 概 要
世界の有力クルーズ船社等が集まるクルーズ関連産業の国際見本市である「クルーズ・SHIPPING・アジア2011」に境港ブースを出展し、寄港地としての魅力のPRや境港への寄港を働きかけた。日本の港で単独出展は境港のみ。
- (2) 開催期間 11月16日（水）～18日（金）
- (3) 場 所 シンガポール マリーナ・ベイ・サンズ
- (4) 参加者
 - ・クルーズ船会社、旅行会社等、約100団体が参加。
 - ・日本からは境港のほか、日本政府観光局（JNTO）、九州運輸局・九州観光推進機構等が参加。
- (5) 参加概要
 - ・境港のポートセールスとして、港湾概要及び山陰地方の観光情報をPR。
 - ・「まんが王国とっとり」のPRによりその認知度向上に寄与した。

3 今後の境港（境港管理組合・鳥取県）の対応

今後、ACTA事務局や加盟各港などと連携しながら、旅行会社や船会社との人脈づくりを積極的に行い、境港への国際クルーズ船の寄港と旅客誘致を働きかける。